設備紹介

令和８年度
デザイン総合振興対策事業

生地の仕上がりイメージを作製できる テキスタイルデザインシステム

【キーワード】先染織物、テキスタイル、デザイン、綴割

【先染織物の仕様決定から試織までにおける問題を解決】

先染織物の生地を試織するまでには、織り方や糸色などの仕様決定をはじめ、糸を指定した長さと本数に揃える「整経」、糸を織機に取付ける「経通し」といった複数の工程があります。試織の結果が想定した仕上がりイメージと異なる場合は、仕様を見直し、再度試織することとなり、多くの時間と材料が必要となります。

令和８年度当センターで更新した「テキスタイルデザインシステム（写真）」は、企画段階で織り方や糸色ほかの情報をパソコンに入力することで、生地の仕上がりイメージを作製し、試織前に確認できるため、試織回数の削減、作業時間の短縮及び材料の削減ができます。

【本システムの詳細について】

「テキスタイルデザインシステム」は、番手（糸の太さ）、密度、配色、綴割（たて糸とよこ糸の配列）、組織（平織・綾織など）の仕様を入力することで、生地の仕上がりイメージ（図）を表現できます。糸色は、実際に色見本と比較しながら色を選択できます。糸の形状や色味などの詳細設定に加えて、糸に陰影を付ける「かぶり効果」や生地表面の質感を表現する「起毛表現」も可能です。生地の仕上がりイメージは、PNG や JPEG などのファイル形式で保存できるほか、仕様とともに印刷することもでき、仕様の変更があればシステム上で変更点を反映させて新たなイメージを作製し、確認することも可能です。当センターでは、本システムを使用した先染織物のデザインに関する「依頼試験」を行っています。御興味のある方は、御相談ください。

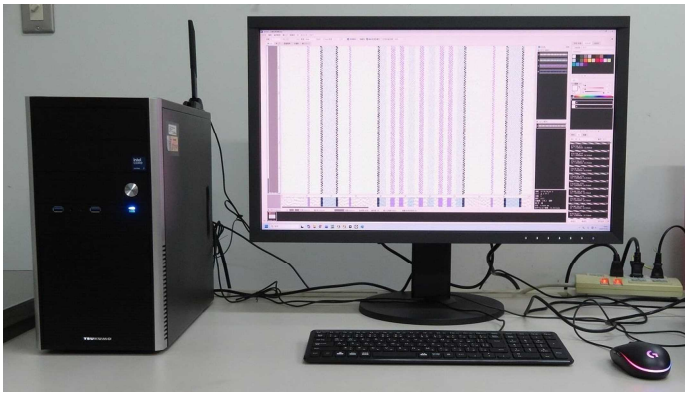


写真　テキスタイルデザインシステム
（株式会社トヨシマビジネスシステム製）

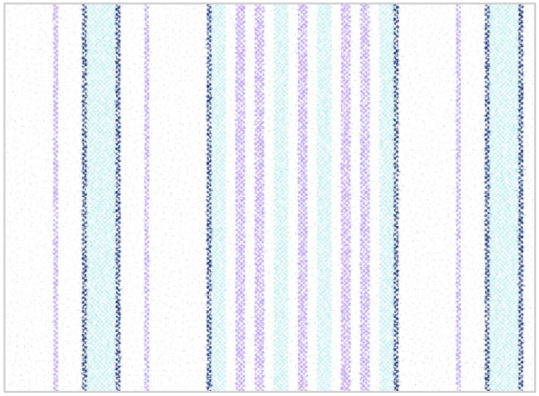


図　生地の仕上がりイメージ例

お問い合わせ先　浜松工業技術支援センター
繊維高分子材料科
電話 053-428-4154